

第66回静岡県高等学校総合体育大会バスケットボール競技

決勝リーグ

試合日	2018年6月3日
会場	エコパアリーナ
コート	Bコート
開始時間	10:00

TEAM A		TEAM B
駿河総合 (中部)	55	62 常葉大常葉 (中部)
	19 - 13	
	15 - 18	
	10 - 19	
	11 - 12	
	OT	

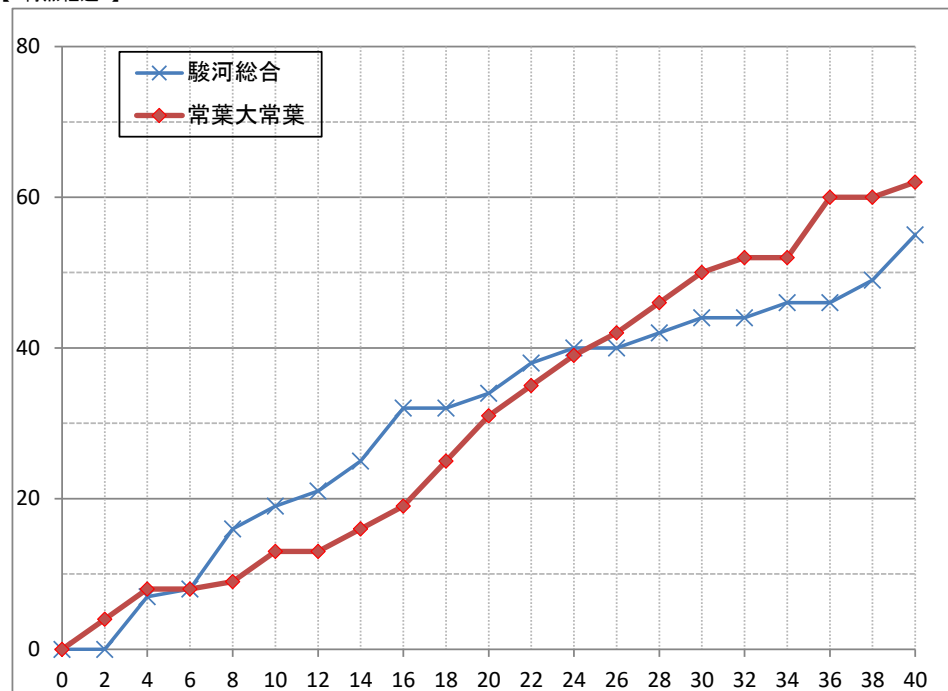
TEAM A 駿河総合 (中部)

No	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	野村 菜由	13	1	5		5
12		片桐 明日美	0				
13	DNP	栗田 遥奈	0				
17	DNP	土勢 佳穂	0				
21	DNP	佐々木 聖愛	0				
25		四電 恵子	0				2
30	DNP	堀池 つぐみ	0				
32	*	永石 華萌	9		4	1	2
33		佐々木 萌	6	2			1
47	DNP	森谷 結愛	0				
49	*	勝又 亜梨沙	6		2	2	5
51	DNP	小原 嘉佳	0				
54	*	鈴木 美優	19	3	4	2	
78	*	加茂 恵	2			2	2
TEAM/COACH			/	/	/	/	
TOTAL			55	6	15	7	17

TEAM B 常葉大常葉 (中部)

No	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	山地 菜月	15		7	1	1
5	*	北村 音緒	9		2	5	2
6		見崎 菜摘	2			2	
7		樋口 茜	0				1
8	DNP	杉山 もえ	0				
9	DNP	佐藤 優凧	0				
10	*	山口 郁実	15		6	3	4
11	*	保坂 悠月	9	1	3		
12	*	林 美弥子	12		6		3
13		池田 桃子	0				
14	DNP	曾根 萌生	0				
15	DNP	山本 光夏	0				
16		本間 海麗	0				
17	DNP	三原 ことみ	0				
18							
19							
20							
21							
TEAM/COACH			/	/	/	/	
TOTAL			62	1	24	11	11

【得点経過】



【戦評】

1PD お互いにマンツーマンディフェンスでスタート。常葉⑩山口のシュートで先制し、④山地のレイアップで加点する。駿河は④野村を中心に1on1を仕掛けるも得点することができない。駿河54番鈴木が3Pが入り、反撃を開始する。その後、常葉は⑩山口を中心にドライブで加点、駿河はミドルシュート中心に攻撃を組み立てる。第1ピリオド中盤になると駿河が多彩な攻撃で5連続得点を重ね、流れが駿河に傾く。残り1分26秒、駿河④勝又が3回目のパーソナルファウルとなる。終盤常葉も粘りを見せ、第1ピリオドを19-13、駿河6点リードで終了する。

2PD 開始直後、駿河54番鈴木がバスケットカウントで先制。その後、互いにシュートまでいくものの得点を取ることができない。徐々にシュートが入り始め一進一退の攻防が続く中、残り4分39秒、駿河④勝又が4回目のパーソナルファウルとなる。さらに残り2分55秒、④勝又がオフェンスファウルにより、5ファウル退場となる。そこから少しずつ常葉に流れが傾き始める。常葉は④山地、⑩山口を中心に少しずつ得点を重ね、終了間際にも⑩山口がブレイクにより加点し、34-31、駿河3点リードで第2ピリオドを終了する。

3PD 駿河⑫永石のジャンプシュートで先制。対する常葉は⑫林美のジャンプシュートで対向する。お互いに粘りのあるディフェンスとリバウンドで主導権を握らせない。中盤になると、徐々に常葉のジャンプシュートが決まり始め、残り4分逆転する。駿河はタイムアウトを取り、リズムを取り戻そうとするが、流れを変えるまでには至らず、終了間際には、常葉⑫林美の個人技による得点で44-50、常葉6点リードで第3ピリオドを終了する。

4DP 第4ピリオドもお互いマンツーマンディフェンスでスタート。序盤、常葉のシュートが入り、着実に得点を重ねていく。一方駿河はシュートまで持ち込むものの、なかなか加点することができない。なんとか突破口を開きたい駿河だが、残り4分4秒、駿河④野村がファウルアウトとなる。駿河は3P攻撃で勝負に出る。③佐々木の連続3P、さらに54番鈴木が3Pで応戦するも追いつくまでには至らず、62-55常葉7点リードでゲームを終了する。常葉2勝となり、全国大会への切符を手に入れた。

戦評(文責)	石川 淳也(掛川東高校)	記入者	吉田朱里(袋井商業高校)
--------	--------------	-----	--------------